Veriton シリーズ

ユーザーズマニュアル

Veriton Series ユーザーズマニュアル

初版：2007 年 5 月

ご注意

本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。

本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。

本製品を運用した結果の影響については、上記 2 項にかかわらず責任を負いかねますのであらかじめご了承願います。

本製品のご購入時に決められた条件以外での製品およびソフトウェアの複製を行うことは禁じられています。

Veriton シリーズデスクトップコンピュータ

モデル番号 : ______________________________________

シリアル番号 : ____________________________________

購入日 : ____

購入場所 : ____

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読み頂き、指示に従ってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を遵守してください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください。

本製品を清掃するときは、電源コードをコンセントから引き抜いてください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。水で軽く湿らせた布を使って清掃してください。

警告

- 本製品が水溶液に触れるおそれのある所で使用しないでください。
- 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。不安定な場所に設置すると製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがありますのでご注意ください。
- スロットおよび通気孔は通気用に設けられています。これによって製品の確実な動作が保証され、過熱が防止されています。これらをふさいだり、カバーをかけたりしないでください。従って、ベッド , ソファーなどの不安定な場所に設置して、これらがふさがることがないようにしてください。本製品は、暖房器の近くでは絶対に使用しないでください。また、適切な通風が保証されないかぎり、本製品をラックなどに組み込んで使用することは避けてください。
- キャビネットのスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートしたりして、火災や感電の危険を招く恐れがあります。
- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。

電力の使用

- ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは現地の電気会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり引っ掛けやすいところに配置しないでください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品が定格電流の合計の許容範囲を超えないようにご注意ください。

- 複数の装置を 1 つのコンセントやストリップ、ソケットに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、支路の 80% を目安にこれを超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、電源ストリップの入力値の 80% を越えないようにしてください。
- 本製品のACアダプタには3線接地プラグが付いています。このプラグは接地されたコンセントでしか使用できません。AC アダプタのプラグを差し込む前に、コンセントが正しく接地されていることを確認してください。接地されていないコンセントには挿入しないでください。詳細は電気技師にお尋ねください。

警告 ! 接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。

注意 : 接地ピンは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。

- 専用の電源ケーブルを使用してください (アクセサリーボックスに入っています)。差し込み / 引き抜き可能タイプ : UL/CSA 認証、SVT タイプ、最小規格電流電圧 7A 125V、VDE 等の認証。最長 4.6 メートルです。

補修

お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたりはずしたりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされるおそれがあります。本製品の修理本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。に関しては、保証書に明示されている保守サービス会社にお問い合わせください。

次の場合、本製品の電源を OFF にし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されている保守サービス会社にご連絡ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
- 液体が本製品にこぼれたとき。
- 本製品が雨や水にさらされたとき。
- 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。
- 本書の指示に従っても本製品が正常に動作しないとき。

注意 : 取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。

電話回線

- 本製品を修理したり、解体したりする前に、必ずすべての電話回線をソケットから外してください。
- 天候が非常に悪いときには､電話回線 (コードレスタイプを除く) のご使用は控えてください。落雷による感電の原因となります。

破棄について

この電子装置は家庭用ゴミとして廃棄しないでください。

地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、再利用にご協力ください。WEEE (Waste from Electrical and Electronics Equipment) 規定についての詳細は、http://global.acer.com/about/sustainability.htm をご参照ください。

水銀についての注意

LCD/CRT モニタまたはディスプレイを含むプロジェクタまたは電子製品：

本製品に使用されているランプには水銀が含まれているため、お住まい地域のゴミ処理に関する規定、条例、法律に従って再利用または処理してください。詳しくは、Electronic Industries Alliance にお問い合わせください。www.eiae.org ランプの破棄については、www.lamprecycle.org をご覧ください。

気持ちよくお使いいただくために

長時間コンピュータを操作すると、目や頭が痛くなる場合があります。また身体的な障害を被る場合もあります。長時間に及ぶ操作、姿勢の悪さ、作業習慣の悪さ、ストレス、不適切な作業条件、個人の健康状態、あるいはその他の要素によって、身体的な障害が生じる確率は高くなります。

コンピュータは正しく使用しなければ、手根管症候群、腱炎、腱滑膜炎、その他の筋骨格関連の障害を引き起こす可能性があります。手、手首、腕、肩、首、背中に次のような症状が見られる場合があります。

- 麻痺、ヒリヒリ、チクチクするような痛み
- ズキズキする痛み、疼き、触ると痛い
- 苦痛、腫れ、脈打つような痛さ
- 凝り、緊張
- 寒気、虚弱

このような症状が見られたり、その他の症状が繰り返しまたは常にある場合、またはコンピュータを使用すると生じる痛みがある場合は、直ちに医者の指示に従ってください。

次のセクションでは、コンピュータを快適に使用するためのヒントを紹介します。

心地よい作業態勢に整える

最も心地よく作業ができるように、モニタの表示角度を調整したり、フットレスを使用したり、椅子の高さを調整してください。次のヒントを参考にしてください。

- 長時間同じ姿勢のままでいることは避けてください。
- 前屈みになりすぎたり、後ろに反りすぎたりしないようにしてください。
- 足の疲れをほぐすために、定期的に立ち上がったり歩いたりしてください。
- 短い休憩を取り首や肩の凝りをほぐしてください。
- 筋肉の緊張をほぐしたり、肩の力を抜いたりしてください。
- 外部ディスプレイ、キーボード、マウスなどは快適に操作できるように適切に設置してください。
- 文書を見ている時間よりもモニタを見ている時間の方が長い場合は、ディスプレイを机の中央に配置することで首の凝りを最小限に留めることができます。

視覚についての注意

長時間モニタを見たり、合わない目がねやコンタクトレンズを使用したり、グレア、明るすぎる照明、焦点が合わないスクリーン、小さい文字、低コントラストのディスプレイなどは目にストレスを与える原因となります。次のセクションでは、目の疲れをほぐすためのヒントを紹介します。

目

- 頻繁に目を休ませてください。
- モニタから目を離して遠くを見ることによって目を休ませてください。
- 頻繁に瞬きをするとドライアイから目を保護することができます。

ディスプレイ

- ディスプレイは清潔に保ってください。
- ディスプレイの中央を見たときに若干見下ろす形になるように、ディスプレイの上端よりも頭の位置が高くなるようにしてください。
- ディスプレイの輝度やコントラストを適切に調整することにより、テキストの読みやすさやグラフィックの見易さが向上されます。
- 次のような方法によってグレアや反射を防止してください。
    - 窓や光源に対して横向きになるようにディスプレイを設置してください。
    - カーテン、シェード、ブラインドなどを使って室内の照明を最小化してください。
    - デスクライトを使用してください。
    - ディスプレイの表示角度を調整してください。
    - グレア縮減フィルタを使用してください。
    - ディスプレイの上部に厚紙を置くなどしてサンバイザーの代わりにしてください。
- ディスプレイを極端な表示角度で使用することは避けてください。
- 長時間窓の外を眺めるなど、明るい場所を見つめたままにしないでください。

正しい作業習慣を身に付ける

正しい作業習慣を身に付けることによって、コンピュータ操作が随分楽になります。

- 定期的かつ頻繁に短い休憩を取ってください。
- ストレッチ運動をしてください。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸ってください。
- 定期的に運動をして身体の健康を維持してください。

警告！ソファーやベッドの上でコンピュータを操作することはお薦めしません。どうしてもその必要がある場合は、できるだけ短時間で作業を終了し、定期的に休憩を取ったりストレッチ運動をしたりしてください。

注意：詳しくは、**AcerSystem** ユーザーガイドの **21** ページの **"** 規制と安全通知 **"** を参照してください。

目次

1 システムツアー

前面パネル

本 PC の前面パネルは、以下を装備しています。

アイコン	コンポーネント
	5.25 インチドライブベイ
	3.5 インチフロッピーディスク・ドライブ（オプション）
	マイクイン・ジャック (前面)
	スピーカーアウト / ラインアウトポート
	USB ポート
	フロッピーディスク・ドライブイジェクトボタン（オプション）
	ハードディスク
	電源ボタン

背面パネル

本 PC の背面パネルは、以下を装備しています。

アイコン	コンポーネント
	電源装置
	電源コードソケット
	電圧セレクタースイッチ
	PS/2 マウスポート
	PS/2 キーボードポート
	USB ポート
	シリアルポート
	パラレル / プリンターポート
	USB ポート
	ネットワークポート

日本語

アイコン	コンポーネント
	オーディオジャック
	拡張スロット
	シャーシロック
	フロッピーディスク・ドライブイジェクトボタン（オプション）

オーディオジャック機能表

カラー \ 使用	ヘッドフォン	1.1 CH	3.1 CH	5.1 CH	7.1 CH
青	ライン入力	ライン入力	ライン入力	ライン入力	ライン入力
緑	ヘッドフォン	ライン力	フロント	フロント	フロント
ピンク		Mic 入力	Mic 入力	Mic 入力	Mic 入力
オレンジ				リア	リア
黒			センターとウーファー	センターとウーファー	センターとウーファー
グレー					サイド

注意 : 周辺機器の接続については、7 ページの " 周辺機器の接続 " および 8 ページの " 通常の方法で本 PC をシャットダウンできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。4 秒以上押さなかった場合、本 PC はサスペンドモードに切り替わります。" を参照してください。

光学ドライブ

モデルによって、CD-ROM, DVD-ROM, DVD/CD-RW combo, DVD+/-RW または DVD-RAM (Supermulti plus) ドライブが搭載されているものがあります。CD-ROM ドライブはさまざまなタイプの CD を再生できます。

DVD-ROM ドライブは古い CD-ROM, CD-I, ビデオ CD のほか、DVD できます。DVD-ROM は、ノーカット映画用に十分な格納スペースのある、一種のディスクメディアです。CD-RW ドライブを使うと、CD-RW ディスクに書き込みを行うことができます。

フロッピーディスクと同じように、CD および DVD はコンパクトで軽く、持ち運びに便利ですが、フロッピーディスクより注意が必要です。

以下の手順に従って、CD/DVD を CD-ROM/DVD ドライブに挿入してください。

1. 前面パネルにあるエジェクトボタンを押してください。
2. ディスクトレイが開いたら、ディスクのラベルまたはタイトル面を上にして CD または DVD メディアを入れてください。ディスクのはじを持って、汚れや指紋がつかないようにしてください。

3 エジェクトボタンをもう 1 度押してトレイを閉じてください。

CD および DVD の取り扱い

- 傷やその他の損傷を防ぐため、CD または DVD メディアは使用していないときは CD または DVD ケースにしまってください。埃や損傷は、CD または DVD のデータを壊したり、CD/DVD ドライブのディスクレンズを損傷したり、または CD または DVD を読み取れなくなる原因となるおそれがあります。
- CD または DVD ははじを持ち、データの読み取りをする面に汚れや指紋がつかないようにしてください。
- CD または DVD を清掃するときは、清潔で埃がついていない布を使い、CD または DVD の中央からはじに向かって拭いてください。円を描くように拭かないでください。
- CD/DVD ドライブを定期的に清掃してください。クリーニングキットを使用することができます。クリーニングキットは、一般のコンピューター取り扱い店または家電製品店で購入することができます。

2 本PCの設置

快適な作業環境

以下の事柄に注意して、設置する場所を選択してください。

- ラジオ、テレビ、コピー機または冷暖房機などの電磁気またはラジオ周波数干渉の原因となる可能性のある装置の近くに本 PC を設置しないでください。
- 埃っぽい場所や極端な温度および湿度を避けてください。
- 本 PC は机の横やテーブルの下に設置することができますが、作業したり立ち歩いたりすることの邪魔にならないようにしてください。

モニターの設置

モニターは、見るのに快適な距離に設置してください。通常は、50cm から 60cm くらいの距離です。画面の上が視線と同じ高さか、または少し下の高さにくるように調節してください。

キーボードの設置

キーボードの位置は、姿勢に大きく影響します。キーボードの位置が遠すぎると、身体が前かがみになってしまいます。また、位置が高すぎると、肩こりの原因となります。

- キーボードは、膝のすぐ上に設置してください。キーボードの下にあるスタンドを使って、高さを調節してください。
- タイプするとき、肘から下の腕が床に対して平行になるようにし、腕の上部と肩はリラックスさせてください。入力は軽いタッチで行ってください。肩や首にこりを感じた場合は、作業を中断して姿勢をチェックしてください。
- キーボードは、モニターの前に設置してください。キーボードをモニターの横に置くと、タイプするときに首を曲げる必要が生じ、首にストレスを与える結果となります。

マウスの設置

- マウスは、簡単に使用できるようにキーボードと同じ表面に置いてください。
- マウスは、手を伸ばしたり前にかがんだりしないで届く距離に置き、動かすのに十分なスペースを作ってください。

日本語

- マウスは、腕を使って動かしてください。手首をテーブルの上に置いたままにしてマウスを動かさないでください。

周辺機器の接続

本 PC は、簡単にセットアップすることができます。通常は、マウス、キーボード、モニターおよび電源コードを接続するだけです。

注意 : 次の接続に示されている周辺機器は参照用です。実際のデバイスモデルは、国によって異なります。

マウスとキーボードの接続

USB インターフェース

USB マウスまたはキーボードケーブルを、コンピュータのフロントパネルとリアパネルにある USB ポートに接続します。

PS/2 インターフェース

PS/2 マウスとキーボードケーブルを、コンピュータのリアパネルにある PS/2 キーボードポート (パープル) とマウスポート (緑色のポート) に接続します。

モニターの接続

モニターを接続するには、モニターケーブルをコンピュータのリアパネルにあるモニターポート (青いポート) に接続します。

注 : VGA カードが PCI-E スロットに追加されている場合は、モニターは増設カードに接続し、オンボード VGA は無効になります。

注 : 詳しい説明と情報については、モニターマニュアルをご参照ください。

電源コード

注意： まず、本 PC を使用する地域の電圧範囲をチェックし、本 PC の電圧設定と一致していることを確認してください (本 PC の背面パネルにある電圧セレクタースイッチの位置は、2 ページのラベル 2 を参照して確認してください)。日本で使用するときは、115V にセットしてください。

(a) 電圧セレクタースイッチを地域の電圧範囲にセットしてください。(b) 電源コードを本 PC の背面パネルにある電源コードソケットに差し込んでください。(c) 電源コードのもう一方をコンセントに差し込んでください。

本 PC の電源を ON にする

必要な周辺機器を接続して電源コードを差し込んだら、本 PC の電源を ON にして作業を開始することができます。

以下の手順に従って、本 PC の電源を ON にしてください。

1 モニター , プリンタ , ファックス , スピーカーなどの本 PC に接続されているすべての周辺機器の電源を ON にしてください。
2 本 PC の前面パネルにある電源ボタンを押してください。

重要 : 電源コードは、コンセントにしっかりと差し込んでください。電源ストリップまたは自動電圧レギュレーターを使用している場合は、それが差し込まれていて ON になっていることを確認してください。

本 PC の電源を OFF にする

以下の手順に従って、本 PC の電源を OFF にしてください。

Windows® XP/Vista:

1 Windows® XP/Vista タスクバーで、スタート、終了オプション、電源を切るの順にクリックしてください。
2 本 PC に接続されているすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。

通常の方法で本 PC をシャットダウンできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。4 秒以上押さなかった場合、本 PC はサスペンドモードに切り替わります。

3 アップグレード

取り付けに関するご注意

コンポーネントの取り付けを始める前に、以下の ESD 対策、取り付けを始める前におよび取り付け後のご注意の内容を良くお読みください。

ESD 対策

静電気 (ESD) は、プロセッサ、ディスクドライブ、拡張ボードおよびその他のコンポーネントを損傷します。コンポーネントの取り付けを行うときは、次の ESD 対策を行ってください。

1. 準備が完全に整うまで、カードを静電気予防パッケージから取り出さないでください。
2. コンポーネントを取り扱う前に、静電気防止のためにリストバンドを身につけ、それをコンピューターの金属部に触れてください。リストバンドがない場合は、ESD 対策を必要とする操作を行っている間コンピューターに静電気を与えないようにご注意ください。

取り付けを始める前に

コンポーネントの取り付けを始める前に、次の内容をチェックしてください。

1. 本 PC を開ける前に、本 PC の電源を OFF にし、本 PC に接続されている周辺機器の電源も OFF にしてください。次に、コンセントからすべてのケーブルを引き抜いてください。
2. 10 ページの指示に従って、本 PC を開けてください。
3. コンポーネントを取り扱うときは、ESD 対策の指示に従ってください。
4. DIMM ソケットまたはコンポーネントコネクタへのアクセスを邪魔している拡張ボードまたはデバイスをはずしてください。
5. 取り付けるコンポーネントについては、以下の節を参照してください。

警告！コンポーネントの取り付けを始める前に本 PC の電源を OFF にしないと、重大な損傷の原因となります。PC のハードウェアに精通した技術者でない限り、トップケースを開けたり、アップグレードしたり、再設定したりしないでください。

取り付け後のご注意

コンポーネントを取り付けたら、次の内容をチェックしてください。

1 コンポーネントがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

2 はずした拡張ボードまたは周辺機器がある場合は、それを元に戻してください。

3 トップカバーを元に戻してください。

4 必要なケーブルを接続し、本 PC の電源を ON にしてください。

AcerSystem を開く

注意： 本 PC を開ける前に、本 PC とすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。7 ページの " 周辺機器の接続 " を参照してください。

追加コンポーネントを取り付けるときは、本 PC を開ける必要があります。以下の手順に従ってください。

サイドパネルの取りはずし

1 本 PC の電源を OFF にし、すべてのケーブルをはずしてください。

2 コンピュータを平らで安定した場所に置きます。コンピュータが垂直になっている場合は、フットスタンドを取り外し、コンピュータを通常のデスクトップポジションにします。

3 つまみねじを指で逆時計回りに回し、カバーを緩めます。

カバーのサイドを両手で持ちます。約 2.5 センチスライドさせ、丁寧に持ち上げて取り外します。

サイドパネルの取りはずし

1 サイドパネルをケースフレームに合わせ、後ろにスライドさせて取り付けてください。

サイドパネルをつのねじで固定します。

本 PC のアップグレード

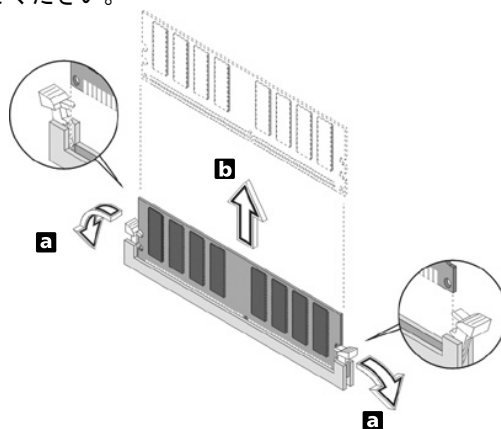
本 PC では、メモリ、ハードディスク・ドライブ、CPU、拡張カードなど、いくつかのコンポーネントをアップグレードすることができます。コンピューターコンポーネントの取り付けまたは取りはずしを行うときは、10 ページの " 取り付けを始める前に " を参照してください。しかし、安全のため、アップグレードはご自分で行わないことをお勧めします。これらのコンポーネントの交換またはアップグレードを行うときは、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

DDR2 DIMM をはずすには

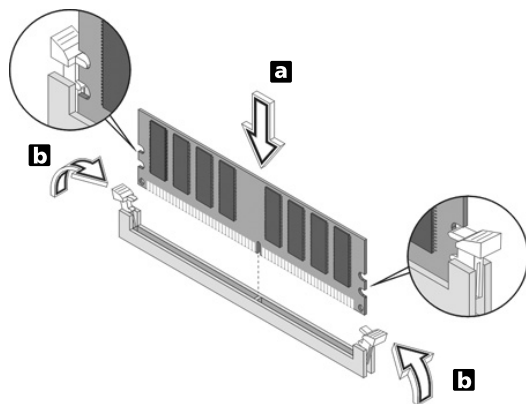
注意： DDR2 DIMM は、モジュールの中央にノッチが 1 つだけあります。

1　サイドパネルをはずしてください。

2　メインボード上の DDR2 DIMM ソケットを見つけてください。

3　(a) DDR2 DIMM ソケットの両側の固定クリップを外側に押しながら、DDR2 DIMM をはずしてください。(b) ソケットから DDR2 DIMM をはずしてください。

DDR2 DIMM を取り付けるには

1　メインボード上の DDR2 DIMM ソケットを見つけてください。

2 (a) DDR2 DIMM をソケットに合わせてください。(b) クリップが DDR2 DIMM を固定するまで、DDR2 DIMM をソケットに押してください。

注意： DDR2 DIMM ソケットは、正しく取り付けられるようにデザインされています。DDR2 DIMM をソケットに簡単に挿入できない場合は、挿入の仕方が正しくない可能性があります。別の方向から DDR2 DIMM を差し込んでください。

本 PC の再設定

本 PC は、取り付けられたメモリーのサイズを自動的に認識します。BIOS ユーティリティを実行して、新しいメモリーサイズを確認してください。

AcerSystem のハードディスクを交換する

以下の手順に従って、本 PC のハードディスク・ドライブを交換してください。

1 サイドパネルをはずしてください (11 ページ参照)。

2 CD または DVD ドライブ、3.5 インチフロッピードライブ、ハードディスクに接続しているケーブルを全て取り外します。

3 ドライブフレームを 90 度に持ち上げます。; そのあと、引き出して、ドライブフレームを取り外します。.

4 ハードディスクをケースに固定しているドライブレールを引き出します。ドライブレールをよせて置きます。.

5 ハードディスクフレームを左に滑らせます (d)。; そのあと、丁寧に取り出し (e)、引き出して取り外します (f)。

6 新しいハードディスクをケースの中に取り付けます。先に取り外したドライブレールで固定し、電力ケーブルとハードディスクケーブルを新しいハードディスクに接続します。

7 ドライブフレームをケースの中に取り付け直します。

8 CD または DVD ドライブケーブルとフロッピードライブケーブルを取り付け直します。

注 : ディスクドライブケーブルのもう一方の端が、メインボードの対応するコネクタにしっかり接続していることを確認してください。

9 コンピュータカバーを元に戻します。(11 ページをご参照ください)

拡張カードの取り付け

以下の手順に従って、拡張カードを取りつけてください。

注意 : システムは低プロファイル PCI カードに限り対応します。

1 サイドパネルをはずしてください (11 ページ参照)。

2 メインボード上の空の PCI スロットを見つけてください。

3 ブラケットをコンピュータに固定するためのブラケットロックを外します。

4 選択したスロットのブラケットをはずしてください。

5 拡張カードをパッケージから取り出してください。

6 カードを空のブラケットに合わせ、スロットに挿入してください。カードがしっかりと固定されていることを確認してください。

7 前に外したブラケットロックを使って、カードをコンピュータにしっかりと装着します。

8 サイドパネルを元に戻してください (11 ページ参照)。

本 PC の電源を ON にすると、BIOS は新しいデバイスを自動的に検出してリソースを割り当てます。

これらのコンポーネントの交換またはアップグレードを行うときは、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

4 FAQ

FAQ

本 PC を使用しているときに発生する可能性のあるトラブルとその対処方法を説明します。

Q: 電源スイッチを押しても、システムが起動しません。

A: 電源スイッチの上にある LED をチェックしてください。

点灯していない場合は、電源が供給されていません。以下についてチェックしてください。

- 本 PC の背面パネルにある電圧セレクタースイッチが適切な電圧 (115V) にセットされていることを確認してください。
- 電源ケーブルがコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 電源ストリップまたは AVR を使用している場合は、それがしっかりと差し込まれていて ON になっていることを確認してください。

点灯している場合は、以下についてチェックしてください。

- フロッピーディスクがフロッピーディスク・ドライブに挿入されていませんか ? それを取り出して、**<Ctrl>** + **<Alt>** + **<Del>** キーを同時に押してシステムを再起動してください。

Q: 画面に何も表示されません。

A: 本 PC のパワーマネジメントシステムは、電源を節約するために自動的に画面を OFF にします。任意のキーを押してください。

キーを押しても正常な状態にもどらない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

Q: プリンターが動作しません。

A: 以下について確認してください。

- プリンターをコンセントにしっかりと接続し、電源を ON にしてください。
- プリンターケーブルを PC のパラレルポートとプリンターの対応するポートにしっかりと接続してください。
- プリンターについての詳細は、メーカーの付属マニュアルを参照してください。

Q: システムからのサウンド出力がありません。

A: 以下について確認してください。

- 消音状態に設定されている可能性があります。Windows でタスクバーのボリュームアイコンをチェックしてください。アイコンがクロスされている場合は、クリックして**消音**機能を取り消してください。USB キーボードのボリューム制御 / 消音ノブを使って、消音とサウンドを切り替えることもできます。
- ヘッドホン、イヤホンまたは外付けスピーカーがシステムのラインアウトジャックに接続されている場合、内蔵スピーカーは自動的に OFF になります。

Q: システムがフロッピーディスク、ハードディスクまたは CD/DVD の情報を読み取れません。

A: 以下についてチェックしてください。

- 正しいタイプのディスクを使用していることを確認してください。詳細は。
- CD/DVD がドライブに正しく挿入されていることを確認してください。
- CD または DVD が汚れていないか、または傷がついていないかチェックしてください。
- フロッピーディスクまたはCD/DVDが損傷していないかをチェックしてください。ドライブが損傷していないディスクから情報を読み取れない場合、ドライブに問題がある可能性があります。弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

Q: 本 PC が、フロッピー、ハードディスクまた CD-R/CD-RW にデータを書き込めません。

A: 以下についてチェックしてください。

- 正しいタイプのディスクまたはフロッピーを使用していることを確認してください。
- フロッピーディスクまたはハードディスクが書き込み禁止になっていないかを確認してください。

付録 A:
規制と安全通知

規制と安全通知

FCC 規定

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証はいたしかねます。この装置がラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために以下の方法にしたがって操作してください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーもしくは経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

注意： シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

注意：周辺機器

この装置には Class B 規定に準拠した周辺機器 (出入力装置、端末、プリンタなど) 以外は接続しないでください。規定に準拠しない周辺機器を使用すると、ラジオや TV 受信装置に障害を与えるおそれがあります。

警告

メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCC が規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

各規格への準拠

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。次の２つの条件にしたがって操作を行うことができます。(1) このデバイスが有害な障害を発生しないこと (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

欧州連合諸国向け適合宣言

Acer は、このノート PC シリーズが指令 1999/5/EC の必須条件と、その他の関連条項に準拠していることを、ここに宣言します。

モデムについてのご注意

TBR 21

この装置は内における PSTN への単一端末接続に準拠しています [Council Decision 98/482/EC - "TBR 21"]。ただし国によって PSTN に違いがありますので、必ずしもすべての PSTN 端末で正しく操作できることを保証するものではありません。
問題が発生した場合は、ただちに装置をご購入されたショップへお問い合わせください。

適用国リスト

2004 年 5 月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです : ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ。欧州連合諸国と同様に、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインでも使用が許可されています。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。

レーザー準拠について

本 PC で使用する CD/DVD ドライブは、レーザー製品です。次のような分類がドライブに表示されています。

CLASS 1 レーザー製品

注意 ! 開くと目に見えないレーザ光線の放射があります。光線にさらされないようにしてください。

Macrovision の著作権保護について

本製品には、米国特許およびその他の知的所有権により保護されている著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術を使用するには、Macrovision からの認証を受けていなければなりません。また Macrovision から許可を得ている場合を除き、家庭およびその他の制限された表示目的にしか使用することができません。リバースエンジニアリングおよび解体は禁止されています。

規制についての注意

注意：次の規制情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth 対応モデルのためのものです。

全般

本製品はワイヤレス機能の使用が認められた国および地域における、ラジオ周波数および安全規格に準拠しています。

設定によって、本製品にはワイヤレスラジオ装置 (WLAN/Bluetooth モジュールなど) が含まれる場合と、含まれない場合があります。次の情報はこのような装置が含まれる製品のためのものです。

ヨーロッパ共同体 (EU)

本装置は以下にリストする European Council Directives が指定する必要条件に準拠しています。

73/23/EEC 低電圧に関する規制

- **EN 60950-1**

89/336/EEC 電磁準拠 (EMC) に関する規制

- **EN 55022**
- **EN 55024**
- **EN 61000-3-2/-3**

99/5/EC ラジオおよび電話通信端末装置 (R&TTE) に関する規制

- **Art.3.1a) EN 60950-1**
- **Art.3.1b) EN 301 489-1/-17**
- **Art.3.2) EN 300 328-2**
- **Art.3.2) EN 301 893 * 5GHz にのみ適用**

適用国リスト

2004 年 5 月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです : ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ。欧州連合諸国と同様に、ノルウェー、

スイス、アイスランド、リヒテンシュタインでも使用が許可されています。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。

FCC RF の安全要件

ワイヤレス LAN Mini PCI カードおよび Bluetooth カードの放射出力電源は、FCC が定める無線周波の被爆上限値を大きく下回っています。しかし、ノートパソコンで通常に使用する際は、人体に接触する可能性を最小限に押さえてください :

2 このデバイスは、5.15 ～ 5.25 GHz の周波数範囲で作動し、使用は室内に制限されています。FCC は、同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、本製品を 5.15 ～ 5.25 GHz の周波数範囲で、室内で使用していただくようご案内しております。

3 高出力レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.65 ～ 5.85 GHz 帯域の一次ユーザーとして割り当てられています。レーダー端末が電波障害を発生し、本デバイスを破損することがあります。

4 不適切な取り付けや不正使用は無線通信に障害を与える原因となります。また、内蔵アンテナを改造すると FCC 認可と保証が無効になります。

カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)

a 一般情報
以下の 2 つの使用条件があります :
1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害に対して正常に動作すること。

b 2.4 GHz 帯での使用
ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用します。屋外に取り付けるにはライセンスが必要です。

c 5 GHz 帯での使用

- 帯域 5150 ～ 5250 MHz のデバイスは、同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、室内でのみ使用します。
- 高出力レーダーは、5250 ～ 5350 MHz 帯域および 5650 ～ 5850 MHz 帯域の一次ユーザー (優先権を持っているユーザー) として割り当てられており、レーダーが電波障害を起こし、LELAN(ライセンス免除ローカル地域通信網) デバイスを破損することがあります。

日本語

Federal Communications Comission Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The following local Manufacturer /Importer is responsible for this declaration:

Product:	Personal Computer
Model number:	Acer
Name of responsible party:	Acer America Corporation
Address of responsible party:	333 West San Carlos St. San Jose, CA 95110 U. S. A.
Contact person:	Acer Representative
Tel:	254-298-4000
Fax:	254-298-4147

Declaration of Conformity

We,

Acer Computer (Shanghai) Limited

3F, No. 168 Xizang medium road, Huangpu District,

Shanghai, China

Contact Person: Mr. Easy Lai

Tel: 886-2-8691-3089 Fax: 886-2-8691-3000

E-mail: easy_lai@acer.com.tw

Hereby declare that:

Product: Personal Computer

Trade Name: Acer

Model Number: Acer

Is compliant with the essential requirements and other relevant provisions of the following EC directives, and that all the necessary steps have been taken and are in force to assure that production units of the same product will continue comply with the requirements.

EMC Directive 89/336/EEC, amended by 92/31/EEC and 93/68/EEC as attested by conformity with the following harmonized standards:

- EN55022:1998 + A1:2000 + A2:2003, AS/NZS CISPR22:2002, Class B
- EN55024:1998 + A1:2001 + A2:2003
- EN55013:2001 + A1:2003 (for AV product)
- EN55020:2002 + A1:2003 (for AV product)
- EN61000-3-2:2000, Class D
- EN61000-3-3:1995 + A1:2001

Low Voltage Directive 2006/95/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

- **EN60950-1:2001**
- **EN60065:2002 for AV product**

Council Decision 98/482/EC (CTR21) for pan- European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).

RoHS Directive 2002/95/EC on the Restriction of the Use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment.

R&TTE Directive 1999/5/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

- **Article 3.1(a) Health and Safety**
  - -. EN60950-1:2001
  - -. EN50371:2002 (SAR, gereral RF device)

- **Article 3.1(b) EMC**

-. EN301 489-1 V1.4.1:2002 (Common technical requirements)

-. EN301 489-3 V1.4.1:2002 (Short-Range Devices)

-. EN301 489-17 V1.2.1:2002 (Wideband data and HIPERLAN equipment)

- **Article 3.2 Spectrum Usages**

- -. EN300 220-1 V1.3.1:2000 (Short range device, 25~1000MHz, part 1.)
- -. EN300 220-3 V1.1.1:2000 (Short range device, 25~1000MHz, part 3.)
- -. EN300 328 V1.5.1:2004 (Data transmission equipment operating in the 2.4 GHz ISM band)
- -. EN301 893 V1.2.3:2003 (5GHz high performance RLAN)